

礼拝プログラム ※主の導きにより変わる事があります

- 黙祷 …………… 御言葉に耳を傾け、心を主に向けましょう。
- *賛美 …………… 404番
- *交読文 …………… 45番
- *使徒信条 …………… 会衆一同
- *頌栄 …………… 107番
- 礼拝のための祈り ……… 川合ゆきえ姉妹
- 賛美 …………… 412番
- メッセージ …………… 間に合う今の内に(ルカ 16:19-31)
- 御言葉を適用する祈り … 会衆一同
- 賛美 …………… 411番
- 献金感謝の祈り ……… パスター
- 報告と歓迎 ……………
- *主の祈り …………… 会衆一同
- *祝祷 …………… パスター

祈禱課題

- この教会が神の御声を聞いて御心を行う教会となるように
- 病、貧しさ、悲しみの内にある兄弟姉妹のために
- 兄弟姉妹達がキリストの香りを豊かに世に放ち、仕事、事業が祝福されるように
- 主に忠実で御霊に満ちた奉仕者が70名与えられる ように
- 終末の災いに実際に直面している兄弟姉妹の守りのために

祝福の御言葉(下線にご自身のお名前を入れてお祈り下さい)

主を尋ね求めよ、見いだしうるときに。呼び求めよ、近くにいますうちに。(イザヤ 55:6) 青春の日々にこそ、_____の創造主に心を留めよ。苦しみの日々が来ないうちに。「年を重ねることに喜びはない」と／言う年齢にならないうちに。太陽が闇に変わらないうちに。月や星の光がうせないうちに。雨の後にまた雲が戻って来ないうちに。(伝 12:1-2)

永遠の契約の血による羊の大牧者、_____の主イエスを死者の中から導き出された平和の神が、イエス・キリストにより、御前でみこころにかなうことを_____のうちに行ない、_____がみこころを行なうことができるために、すべての良いことについて、_____を完全な者としてくださいますように。どうか、キリストに栄光が世々限りなくありますように。アーメン。(ヘブル 13:20-21)

人は、やがて死ぬ。その日は分からず、生きて自由に判断し、行動できる時間は、量り定められている。人生は、選択と行動の積み重ねで構成されており、どう積み重ねたかかによって、永遠が査定され、パラダイスという慰めの所に行くか、ハデスという苦しみの所に行くか、二つに一つである。ラザロも金持ちも、アブラハムを知っていた。彼ら二人はアブラハムの子孫で、遠いながらも兄弟の関係であった。実は、私達も、信仰によってアブラハムの子孫であり、彼らと同じ立場にある。

ラザロは「食卓から落ちる物で腹を満たしたいものだと思っていた」。という事は、ラザロは金持ちから直接食べ物を頂くどころか、こぼれ落ちるものさえ、頂く事が出来ていなかったようである。兄弟姉妹が飢えているなら食べ物を、裸であるなら着る物を与えることが律法では命じられている。金持ちは、贅沢品の衣服を着、毎日贅沢に遊び暮らす財力があつたのに、また、犬さえ彼のおできをなめて慰めをかけていたというのに、金持ちはラザロに食べ物を与えず、食べ物をこぼす事さえなかった。「やがて、この貧しい人は死んで、天使たちによって宴席にいるアブラハムのすぐそばに連れて行かれた。金持ちも死んで葬られた。」(22節) 金持ちは葬儀も豪華だったろうが、葬儀で行き先は変えられない。何によって行き先が決まるのだろうか？ 金持ちが必ずハデスに行く訳ではない。事実アブラハムは非常に富んでいる。アブラハムの側に行くことが出来る条件、それは信仰である。アブラハムは「子よ、思い出してみなさい」と言った。アブラハムの願いは、子が全て自分の側に来る事であるが、それは私の願いでもある。これを読む者皆が、信仰の父・アブラハムの側に行くように願っている。ハデスに行ってしまった子や家族、知り合いに対しては、いかにアブラハムといえど、肉親といえど、牧師といえど、そしてイエス様といえど、何も為す術は無い。間に合うべき時にそれぞれが為すのみである。金持ちに関しては、生前ラザロに対して何もしないまま査定の時間が切れ、間に合わなかった。

金持ちは、生きている兄弟達にラザロを遣わし、こんな苦しみの場所に来ることがないよう、よく言い聞かせて下さい、とお願いをしたが、アブラハムの応えは、「彼らにはモーセと預言者がいる」だった。今、皆さんもモーセと預言者、すなわち、聖書を持っている。皆さんも、御言葉に聞き従うべきである。御言葉にどう対処し、どこへ行き着くかは、皆さん自身にかかっている。金持ちは自分の考えを「死んでも」降ろさず、自分のよかれを主張し、御言葉に無いことをお願いしては、ことごとく突っぱねられた。彼の最初の願いは、ラザロの指で舌を冷やすように、であったが、実に興味深い願いをするものだ。ハデスと舌は、実に関係が深く、人は、舌の用いようによって、火に投げ込まれる事もある。(ヤコブ 3章) この金持ち、舌が達者なようで、アブラハムに「いいえ」と言ったり、口先三寸で何か言いくるめようとした。生前、彼より弱い立場だったラザロを利用しようと計り、舌を駆使した所で、永遠の査定が覆る訳はない。ラザロは、金持ちにとって無力だったかもしれない。現代を生きる皆さんにとって、イエス様は無力に見えるかもしれないが、しかし死人の中から蘇えられた、この御方をどう扱うか、今、判断が委ねられている。

金持ちにとって、ラザロが彼の面前に現れた時、彼がパラダイスへ行く事の出来る、最後のチャンスだった。しかし彼はラザロを軽んじ、律法と預言者を軽んじ、自分の欲望を選択し続け、時間が来てしまった。今、皆さんの目の前に、ラザロはいるだろうか？ 気分いかんで賛美しなかったり、御言葉を「そうじゃなくて」と退けたり、あくまで自分のよかれを手放さないなら、皆さんのラザロは、放って置かれているのだ。今、皆さんは生きて、ここで礼拝を捧げているが、やがて、パラダイスかハデスに行く時間が来る。ハデスに行ってしまった時、はるか上に生前共に礼拝を捧げたあの兄弟この姉妹を見て後悔する者が一人もいないようにと、私は願い、祈っているし、アブラハムも、肉親も、そして、主イエス様も、祈っている。皆さんの自由意思は、肉親も、牧師も、イエスキリストといえども、侵す事は出来ないが、私は勧める。どうか、自分のよかれを捨て、皆さんのラザロを捨て置く事なく 御言葉へ従順する事を選択して、パラダイスへと向かう皆さんでありますように。パラダイスに行った時、礼拝を捧げていたあの時間が本当に幸いだったな、本当に御言葉の通りだったな、と、良い思い出を懐かしみつつ、共に思い返す私達でありますように。イエス様の名前によって祈ります！

横浜天声キリスト教会

礼拝 週報



集会案内

日曜礼拝	
1部礼拝(韓国語通訳あり)	10:30
食事/フェローシップ	12:00～
2部礼拝	14:00
聖書通読会	15:00

日々の集会		
月～金	早天祈祷会	5:00～
火・木	夜の祈祷会	21:00～
水曜集会		
1部		13:00～
2部		19:30～
金曜徹夜祈祷会		21:00～

アクセス

横浜市営地下鉄・伊勢佐木長者町駅
6番B出口を出てまっすぐ徒歩5分
JR・関内駅より徒歩10分
京急線・日ノ出町駅より徒歩10分

関内駅から伸びる大通公園沿い、
伊勢佐木警察署の向かい対角線上にあり、
1Fがファミリーマートになっております。



聖書メッセージを携帯で

聖書メッセージをメールで
毎日携帯にお届けします。
左記コードを読み込み、
空メールを送信するだけ！

〒231-0058

パスター: 林和也

神奈川県横浜市中区弥生町2-17 ストックタワー大通公園 I -201

TEL/FAX: 045-326-6211

Homepage: <http://voh.plala.jp/>

email: ephes_03-tensei@yahoo.co.jp



モバイルサイト